

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 2 号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成27年5月1日(金)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## 「母のこと」

校長 安藤 盛光

武道場とテニスコートの間にある藤棚の藤の花がちょっとはずかしそうに棚から生徒たちを見つめています。紫とは違った優しい藤色の房がいくつも垂れ下がっています。また、職員玄関にはツバメが巣をつくりました。かわいい赤ちゃんも顔をのぞかせています。実は一昨年も同じ場所に巣を作ったのですが、カラスに襲われたようです。そのせいか昨年は姿を見せませんでした。もう大原中には来ないのかなとさびしく思っていたのですが、ほっとしました。早くツバメの赤ちゃんが無事に巣立って欲しいと願っています。

私は年に2回母を思い出す鉢花を買ってきます。「ホクシャ（フクシア）」と「クモマソウ」です。私が小学校3年生頃の事です。私が学校から帰ると、家の玄関に見慣れない鉢植えがありました。当時ミン刺繍の内職をやっていた母がにこにこして中から出てきました。「この花どうしたの？」と聞くと、駅前に銀行の支店が出来たので通帳を作ったら、抽選でこの花が当たったとうれしそうに話してくれました。もう何十年も前の話です。たったそれだけのことですが、あの時の母のにこにこした顔が今でも忘れられないでいます。その花がホクシャ（フクシア）でした。クモマソウにも思い出があります。医師から母の余命はあと3ヶ月程度と言われた頃のことです。親しい人には今のうちに会わせておきなさいという話もされました。母にはそのことは伝えませんでした。まだ元気で、外出等は十分に可能だったからです。母は知人からいただいた「お花券」を使って、季節ごとに少しずつ好きな花を買って楽しんでいました。お花券を使えるのは今度が最後になるだろうと思いましたが、ついに言い出せませんでした。駅前の花屋さんの前を通った時でした。店先に、クモマソウの小さな鉢植えがいくつも置いてありました。母はこの小さくて可憐な花が気に入ったらしく、残っていたお花券をすべて使ってクモマソウの鉢を3つ買ったのです。数ヶ月後母は帰らぬ人となってしまいましたが、クモマソウの花はその後家でも咲き続けていました。

サトウハチローさんはお母さんの詩を数多く作っています。サトウハチローさんは、若い頃ずいぶんとお母さんに迷惑をかけた不良少年だったようです。でも、お母さんが大好きだったと後に自ら述べています。「ちいさい秋みつけた」「かわいいかくれんぼ」等の作詞もしています。サトウハチローさんの詩を読むと、サトウハチローさんがお母さんを思う気持ちがひしひしと伝わってきます。

等本当にご苦労さまでした。更に、午後からの入学式には、先輩らしい態度で臨むことができました。

入学式では、1年生の緊張感に満ちた新入生らしいハキハキとした呼名の返事を一人ひとりがしっかりできました。また、新入生代表の脇駿太郎くんが素晴らしい内容の誓いの言葉を述べてくれました。

新しい仲間、新しい先生との出会いの1日でした。ぜひ、1・2・3年生全員で新たな大原中学校の伝統を作りあげていってください。

